

## Sunshine 第6回 Lessons

### Lesson 6-1: 助動詞 can 肯定文 (一般動詞編)

助動詞とは動詞だけでは表すことができない「可能」や「必然」を表す単語です。例えば、今回学びます can は、go (行く) という単語につけることで、「行くことができる(可能)」「行ってもよい(許可)」という意味を足すことができます(意味の使い分けは文脈によって判断します)。助動詞は「一般動詞の文」と「be 動詞の文」の両方につけることができますのですが、今回は比較的簡単な一般動詞の文につく形だけを学んでいきます。

#### 【助動詞 can の肯定文 (一般動詞編) : 基本の形&作り方】

助動詞の can の使い方は簡単。なぜなら、一般動詞の文を作り、一般動詞の前に can を足せば完成だからです。そして、助動詞の can は、全ての主語 ( I / you / we / they / he / she / it やこれらに言い換えられるもの ) で使うことができます。

#### 【助動詞 can 肯定文 (一般動詞編) : 基本の形】

主語 + can + 一般動詞の原形 + ~.

(「主語」は「一般動詞」することができます 【可能】)

(「主語」は「一般動詞」してもいいです 【許可】)

<例> They can read Japanese. (彼らは日本語が読めます) 【可能】

She can eat my apple. (彼女は私のリンゴを食べてもいいです) 【許可】

#### 【作り方】

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ~. とした肯定文の形を作る。

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

<例 1: 彼らは日本語が読めます>

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ~. とした肯定文の形を作る。

「彼らは日本語を読みます」

\_\_\_\_\_ They read Japanese.

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

\_\_\_\_\_ They can read Japanese.

<例 2: 彼女は私のリンゴを食べてもいいです>

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ～. といった肯定文の形を作る。

「彼女は私のリンゴを食べます」

\_\_\_\_\_ She eat my apple. \_\_\_\_\_

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

\_\_\_\_\_ She can eat my apple. \_\_\_\_\_

### 【ポイント！】

#### can の文章でよく登場する 副詞の fast / well

「fast =速く」「well =上手に」という副詞は、can の文章ではよく登場します。例えば「彼は速く走ることができます」「彼女は上手にピアノを弾くことができます」といった文を作る時に使われます。fast / well には、強調を表す very (とても) を足すこともでき、基本的に「動詞 (+ 目的語)」の後に足されます。

<例> He can run fast. (彼は速く走ることができます)

She can play the piano very well. (彼女はピアノをととても上手に弾くことができます)

## Lesson 6-2: 助動詞 can 否定文 (一般動詞編)

基本的に助動詞の肯定文を否定文に変えるには、

助動詞の後ろに not を足してあげるだけ

で完成となります。つまり、今回の can の場合、can の後に not を足してあげれば完成となります(しかし、形が cannot と「can と not が一語になる」ので注意してください)。また、cannot を短縮させた can't という形もよく使われます。

### 【助動詞 can の一般動詞の否定文：基本の形】

主語 + cannot + 一般動詞の原形 + ～.

主語 + can't + 一般動詞の原形 + ～.

(主語は～できません)

<例> We cannot (can't) play soccer. (私たちはサッカーをすることができません)

You cannot (can't) use my car. (あなたは私のパソコンを使うことはできません)

### 【作り方】

ステップ 1: can の肯定文を作る。

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

<例 1: 私たちはサッカーをすることができません>

ステップ 1: can の肯定文を作る。→ 「私たちはサッカーができます」

We can play soccer.

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

We cannot (can't) play soccer.

<例 2: あなたは私のパソコンを使ってはいけません>

ステップ 1: can の肯定文を作る。→ 「あなたは私のパソコンを使ってもいいです」

You can use my computer.

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

You cannot (can't) use my computer.

### 【ポイント！】

#### I speak Japanese. と I can speak Japanese. の違い

基本的に「I speak Japanese. = 日常的に日本語を話している」という意味になり「I can speak Japanese. = 日本語を話す能力を持っている」という意味になります。同様に、否定文でも「I don't speak Japanese. = 日常的に日本語を使わない」という意味となり「I can't speak Japanese. = 日本語を話す能力がない」という意味になります。

### Lesson 6-3: 助動詞 can 疑問文 (一般動詞編)

助動詞 can の疑問文は、

肯定文の形にした後で、can を文頭に持ってくれば完成

となります。つまり、基本的な形に以下ようになります。

【助動詞 can 疑問文：基本の形】

Can + 主語 + 一般動詞 (+目的語) (+～) ?

(「主語」は～できますか) (「主語」は～してもいいですか)

\*Can you ~? は、「～してくれますか」という意味でも使える。

<例> Can Jim play soccer? (ジムはサッカーが**できる**のですか)

Can I buy it? (私はそれを**買**ってもいいですか)

Can you help me? (私を手伝って**く**れますか)

【ポイント！】

会話などでよく登場する Can I help you?

Can I help you? は、「私はあなたを助けられますか」という意味ではなく「お手伝いしましょうか」「(お店などで)何かお困りですか」といった意味になります。会話ではよく登場する形なのでぜひ覚えておきましょう！(Can I help you? だけでなく、少し丁寧な言い方の May I help you? という表現もある)

【助動詞 can 疑問文：作り方】

ステップ1: 助動詞 can の「**肯定文**」を作る。

ステップ2: 文頭に **Can** を持ってきて、最後を**?**にする。

<例1: ジムはサッカーができるのですか>

ステップ1: 助動詞 can の「**肯定文**」を作る。 → ジムはサッカーができます。

\_\_\_\_\_ Jim can play soccer.

ステップ2: 文頭に **Can** を持ってきて、最後を**?**にする。

\_\_\_\_\_ Can Jim play soccer?

<例2: 私は、それを買ってもいいですか>

ステップ1: 助動詞 can の「**肯定文**」を作る。 → 私はそれを買ってもいいです。

\_\_\_\_\_ I can buy it.

ステップ2: 文頭に **Can** を持ってきて、最後を**?**にする。

\_\_\_\_\_ Can I buy it?

### 【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes,                       **can**           .

No,                       **\*can't**           .

\* can't 使うのが一般的だが、cannot と分けることも可。

Can ~? でなので、can で答える。

do で答えないように注意。

<例> **Can** you play soccer?

Yes, I **do**. =×

ただし、会話文などでは Yes / No だけしか言わないことも多い。

<例 1> Can Jim play soccer?

はい → **Yes, he can.**

いいえ → **No, he can't. (No, he cannot.)**

<例 2> Can I buy it?

はい → **Yes, you can. (\*Sure. / Of course.)**

いいえ → **No, you can't. (\*I'm sorry, you can't.)**

\* 「～でもいいですか」「～してくれますか」と許可を求めたり依頼をしたりする場合の疑問文では、「もちろん」という意味で **Sure** や **Of course** も答えとしてよく使われる。また、No と断る際も、No だけだと強いので **I'm sorry, (but) you can't.** の形にすることが多い。

## Lesson 6-4: 疑問詞③ (What / How much ~)

ここでは「何?」という意味の What と「(値段は)いくら?」という意味の How much について学んでいきます。これらの疑問詞も基本的に文頭で使われます。そして、これらの疑問詞の後には疑問文の形 (be 動詞の疑問文、一般動詞の疑問文、can の疑問文) が入ります。

### 【疑問詞を使った疑問文：基本の形】

#### 疑問詞 + 疑問文動詞?

<例> **What** do you want to do? (あなたは何をしたいですか)

**How much** are they? (それらはいくらですか)

**What can** you sing? (あなたは何を歌うことができますか)

**What is \*(What's)** that? (あれは、何ですか)

\*What is ~? は、What's ~? と短縮せることも可能。

【疑問詞を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何・いくら) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を**疑問詞に戻す**。

ステップ 3: 疑問詞を**文の先頭に持ってくる**。

<例 1: あなたは何をしたいのですか>

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

「何」を「サッカー」に変える → 「あなたは**サッカー**をしたいのですか」

\_\_\_\_\_ Do you want to play **soccer**?

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を疑問詞 (what) に戻す。

soccer → what に戻す。

\_\_\_\_\_ Do you want to play **what**?

ステップ 3: **What** を文の先頭に持ってくる。

\_\_\_\_\_ **What** do you want to play?

<例 2: それらはいくらですか>

ステップ 1: 疑問詞の部分 (いくら) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

「いくら」を「5ドル」に変える → 「それらは**5ドル**ですか」

\_\_\_\_\_ Are they **five dollars**?

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を疑問詞 (what) に戻す。

five dollars → how much に戻す。

\_\_\_\_\_ Are they **how much**?

ステップ 3: **How much** を文の先頭に持ってくる。

\_\_\_\_\_ **How much** are they?

## Lesson 6-5: 様々なフレーズ⑤

### 1. on TV = テレビで / テレビに (出演する)

<例> Your favorite singer is on TV. <あなたのお気に入りの歌手がテレビに出ています>

#### [補足説明]

基本的に on a TV や on the TV というようにならないので注意。

### 2. watch TV = テレビを見る

<例> Do you watch TV every day? <あなたは毎日テレビを見るのですか>

#### [補足説明]

基本的に watch a TV や watch the TV というようにならないので注意。

### 3. have good time = 良い時間を過ごす / 楽しむ

<例> I want to have a good time. <私は良い時間を過ごしたいです>

#### [補足説明]

別れの挨拶などに「Have a good time. (楽しんで)」という意味で使われることもある (これは命令文となるため主語がない)。また、Have a great time. (素晴らしい時間を過ごしてね) と good の代わりに great といった別の単語が使われることも多い。

### 4. hard = 熱心に / 一生懸命

<例> They study hard every day. <彼らは毎日熱心に勉強します>

#### [補足説明]

hard は、fast/well と同じような使われ方がされる副詞。「動詞 (+目的語)」の後に足されることが多い。また、hard は「難しい / 硬い」という意味の形容詞として使うこともできる。

### 5. then = それなら / それでは

<例> A: I want to practice soccer. B: Then, we can practice together.

<A: 私はサッカーを練習したいです。 B: それなら、私たちは一緒に練習できます>

#### [補足説明]

基本的に文章の最初、または最後に使われる。文章の最初で使われる場合は“Then,” と Then の後にカンマが使われることもある。また、文の最後では“, then” と then の前にカンマが使われることもある。